



民児協

あんじょう

第16号

〈発行・編集〉安城市民生委員・児童委員協議会 広報委員部会



第36回 安城市福祉まつりに出展しました



民生委員によるバザー



主任児童委員による体験講座

十二月一日の一斉改選までひと月を切りました。来期も民生委員・児童委員を継続される方は次の三年間に向けて気持ちを新たにされ、今期で退任される方は後任に引き継ぐ準備を進めてくださっているものと思います。長きにわたるご活躍に対し、心からお礼申し上げます。今後とも、地域の方々と福祉行政とを繋ぐ架け橋であっていただきますよう、お願い申し上げます。

さて、昨今は子どもや高齢者をはじめとする社会的弱者に対する虐待のニュースをよく耳にすることがあり、日ごろ地域の方々と関わる中でも、決して他人事ではなく、身近な問題であると実感することが多くあります。支援が必要な人や世帯への相談相手となり、適切な専門機関に繋ぐのが私たち民生委員・児童委員の使命です。広い視野を持ち、自身の資質向上を図るとともに、地域の皆様に寄り添った活動を心がけてまいりますので、よろしく願います。



安城市民生委員・児童委員協議会
会長 柴田綾乃

退任にあたって

さりげなく見守ることの大切さ

東山地区 柴田 洋子

「お変わりないですか」「何とかやっております」日常の何げない会話にホッと胸をなでおろし、また頑張ろうと送ってきた日々。こんなこともありました。「おばあちゃん、民生委員さんみえたよ。家に入って顔を見ていって」と、寝たきりの姑さんを介護しているお嫁さん。多くの出会いに感謝し、この経験を生かして地域の皆様の声に耳を傾けていこうと思っています。



地域の民生・児童委員との連携

中部地区 鈴木 臣巳

民生・児童委員を2期、地域の高齢者、障害者、児童への見守り活動を担ってきました。年々一人ひとりが抱えている課題も複雑化し、対応に戸惑いを感じたときは同僚の助言を仰ぎ、関係機関へと橋渡しをしました。また、地域福祉活動も同僚との連携を密にし、住民の現状を把握しながら楽しく活動ができましたことに深く感謝しております。ありがとうございました。



退任にあたって

作野地区 服部 佳生

2期6年の任期を無事終了することができましたのも、同僚や福祉関連部署の方々の温かい支えの賜物と感謝する次第です。民生委員の活動方法については、地区民協での学習会、全体研修会、専門部会での視察研修がありますが、知識の早期習得に最も効果があったのは、日々発生する福祉課題へ真摯に取り組むことで、習得した知識は、困っている人への助言に活用していきます。



退任にあたって

中央地区 薦 正夫

任期途中で癌が見つかり手術をし、療養の身でありながら、民生・児童委員の活動、老人会会長、町内会副会長、福祉委員会の委員長と、これだけの役割を何とかできたのも、皆様の協力があったからこそです。皆様に感謝を申し上げ、残りの人生を過ごすことができたいと思います。民生委員は5期務めさせていただき、ありがとうございました。民児協の益々の発展と皆様のご多幸を祈ります。



自分らしさを活かす民生委員活動

安祥地区 池田 博和

2期6年間民生委員をやらせていただきました。就任当初は一人暮らし高齢者宅を訪問しても会ってくださらない方や面倒くさそうな態度で対応される方もいました。しかし何度か訪問しているうちに、悩みごとの相談をされる方も出てきました。整体を仕事にしていますので、ふだん行っているコミュニケーションを活動に活かすことができました。自分らしさを活かした民生委員活動ができるとよいと思います。



民生委員活動を振り返って

西部地区 加藤 比登美

戸惑いや不安の中で始まった民生・児童委員活動も、地域の方々に支えられ今日まで来ることができました。12年の間には一人暮らしや認知症にまつわる難題もありましたが、専門職の皆様方の温かいご指導の下に一つずつ解決することができ、感謝しております。

これからも、地域に少しでも関わっていけたらと思っています。皆様ありがとうございました。



お互いに助け合える地域に

明祥地区 稲垣美知子

9年前、民生委員として何をすればいいのかも分からないままお受けしました。仕事をしながら、どうしたらいいのが悩みました。皆が元気に生きていくために、心のよりどころとなるためにはどう動けばいいのか。良かれと思ってもそうでないときもあり、涙を流したこともあります。民生委員活動の奥の深さをひしひしと感じました。民児協のいっそうの発展を心から祈念いたします。



皆様に支えられて 地域とともに

桜井地区 大屋 敏

この度民生・児童委員活動を大過なく終えることができ、地域の諸先輩はじめ各民生・児童委員の皆さんのご指導に感謝を申し上げます。住民の立場に立って相談に応じ、行政機関との連携に基づく活動推進に務めてまいりました。

今後も活動は続いて参ります。皆様のご活躍をご祈念申し上げます。



令和元年12月に民生委員・児童委員の一斉改選が行われます

安城市では、現在 200 人以上の民生委員・児童委員が活動しています。
地域の福祉を充実させ、住民一人ひとりの暮らしをよりよくするため、さまざまな取り組みを行っています。

私たち民生委員・児童委員は皆さんの身近で活動しています。

ご自分のこと、ご近所のことでは何か困ったことがあればご相談ください。

また、民生委員・児童委員には守秘義務がありますので、相談内容が他の人に伝わることはありません。

1 高齢者世帯訪問

- ・見守り
- ・声かけ
- ・安否確認 など



2 地域住民からの相談

- ・アドバイスや情報提供
- ・関係機関へつなげる など

3 心配ごと相談

身近な悩みごと、困りごとの相談に応じます。電話相談も可能です。

場所 総合福祉センター

日時 原則火～土曜日

(閉館日などを除く)

13:30～16:00

電話 77-7889



4 福祉電話

電話による見守り、声かけ、安否確認をします。ひとり暮らし高齢者などが対象です。

5 町内会及び関係機関との関わり

- ・町内福祉委員の一員
- ・町内会行事へ参加
- ・関係機関との連携 など

6 事業所募金

事業所を訪問し、赤い羽根共同募金をお願いしています。



7 子育て支援

- ・小中学校の行事へ参加
- ・登下校時の見守り、あいさつ運動
- ・虐待の早期発見、早期対応 など

8 その他

- ・定例会議の開催
- ・研修会への参加
- ・歳末激励品配布への協力 など

「いざ」というときに備えましょう

安城市では、災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者名簿を作成しています。この名簿を日ごろから避難支援等関係者へ提供するには、本人の同意が必要です。民生委員は活動の中で、災害時等の避難に支援が必要だと思われる方へ、この制度のお知らせをしています。避難支援等関係者へ名簿を提供することで、地域での支援が受けやすくなります。

●安心キット

情報提供に同意された方には、民生委員が救急医療情報キット(安心キット)を配布します。安心キットは、災害時や病気等の救急搬送時に、救急隊員が必要な情報を速やかに医療機関に伝えることを目的とするものです。



回想法について学びました

7月中旬に、広報委員部会では北名古屋市回想法センターで視察研修を行いました。

回想法センターは、回想法スクールによる普及活動、「いきいき隊」でのグループ実践活動を通して、高齢者の認知予防や介護予防に効果を上げている施設です。



安城市福祉まつり

令和元年10月6日(日)に行われました安城市福祉まつりバザーの収益金 **337,100円**

秋空の下、たくさんの方にお越しいただき盛大に開催できました。収益については福祉事業に役立てられます。ありがとうございました。

子育てにかかわる施設を訪問しました

子ども発達支援センターあんステップ

あんステップ職員

あんステップは、発達に心配や遅れのある子どもに関する相談・発達支援・療育・通園の機能を集約した複合施設です。保護者の方が子どもの相談に一步を踏み出し、18歳まで継続した相談や支援が受けられるよう、ライフステージに応じた支援を提供します。

また、併設する地域交流図書コーナーは、どなたでも利用でき、育児や子どもの発達に関する本が充実しています。



住所 城南町2丁目10番地3 / 電話 77-7795

民生委員

いろいろな特性をもつ子どもたちがすごしやすいように、建物には多くの工夫がされていました。また、図書コーナーには育児や子どもの発達についての本が充実しており、親の悩みを手助けするための環境が整っていました。



認定こども園 さくのこども園

平成31年4月より、安城市では、4園の公立幼稚園のうち、安城・さくのの2園がこども園へ移行しました。

幼稚園から移行した現在のさくのこども園には、幼稚園コース・保育園コースがあり、定員270名、対象年齢は3～5歳とされ、現在208名の園児を受け入れて保育をされています。

各コースでは送迎に違いがあるものの、預かり保育や延長保育があり、就労される保護者の都合や出産・病気などにもコース変更による対応が可能とのことです。

教育目標や学年目標が掲げられる中、隣接する小学校のプール利用や、町内会とのもちつき会など、地域と連携した取組みが進められています。

こども園は子育て支援として大きな力、後ろ盾になる制度だと実感しました。



【編集後記】

月1回広報委員が集まり、原稿の校正やレイアウトの検討を重ねてきました。皆様のご協力により、第16号を発刊できました。ありがとうございました。

広報委員会一同

